

議 事

(1) 令和3年度スポーツの推進に係る主な事業について

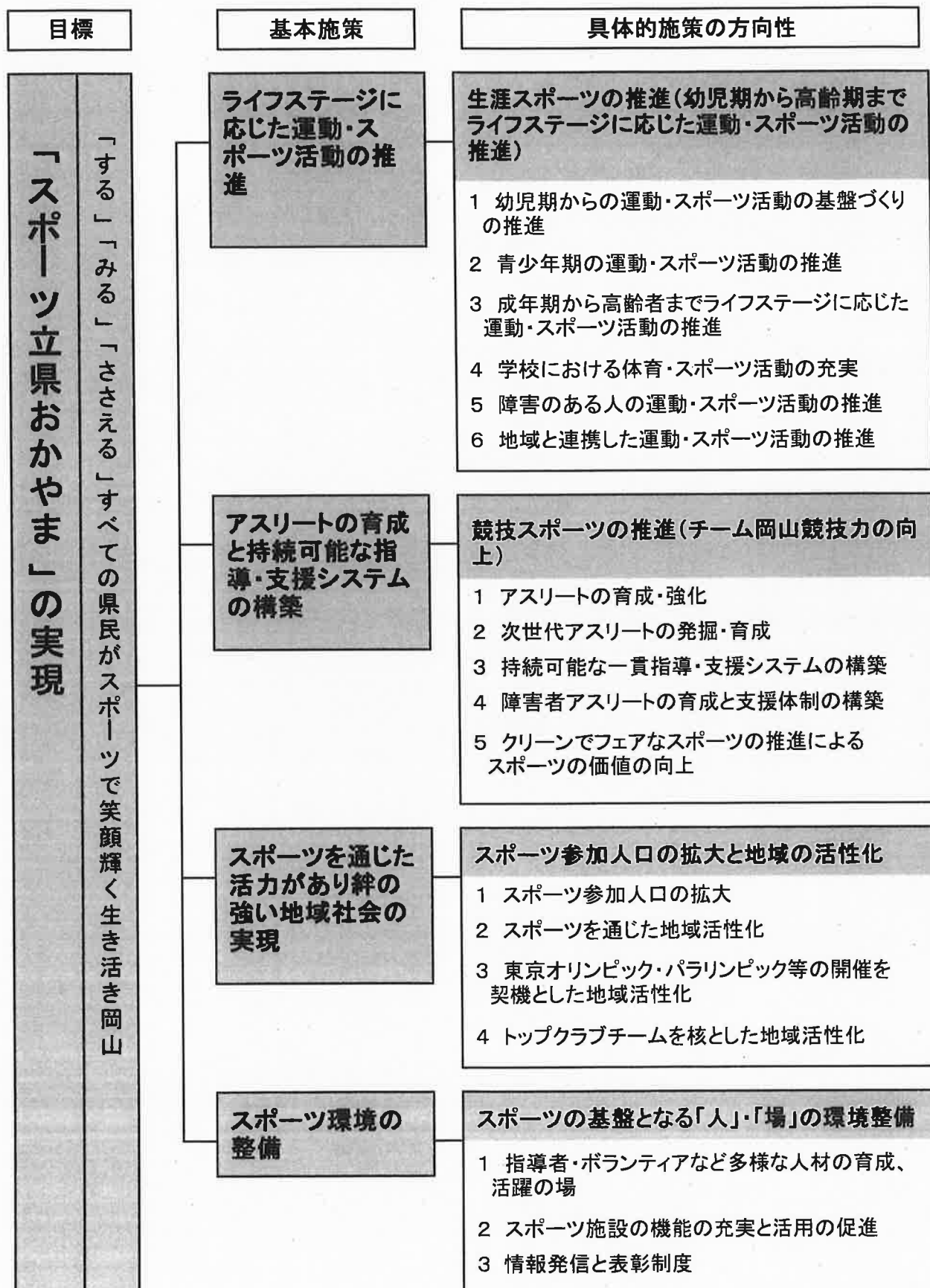
- ・岡山県スポーツ推進計画（改訂版）体系図
- ・基本施策別事業一覧
- ・教育庁保健体育課の主な事業

(2) 令和3年度スポーツ団体への補助金について

(1) 令和3年度スポーツの推進に係る主な事業について

岡山県スポーツ推進計画(改訂版) 体系図

(改訂後の計画期間: 平成30(2018)年度～令和4(2022)年度 5年間)



令和3年度主なスポーツ関係事業一覧

※複数の基本施策に該当する事業は、比重の高い基本施策に記載している。

基本施策Ⅰ ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進

(単位:千円)

項 目	内 容	R3(2021) 予算額(案)	R2(2020) 当初予算額
ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の促進	総合型地域スポーツクラブ(市町村等)を通じて、幼児期からからだを動かすことを心から楽しいと感じ、生涯にわたって運動・スポーツに親しむ生活習慣化へのきっかけづくりを目指す。	4,117	7,554
学校体育の充実等	P. 6～10のとおり		
障害者スポーツへの理解と参加機会の確保	① 障害者スポーツ大会の開催 障害のある人がスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障害に対する理解と認識を深め、障害のある人の社会参加を促進することを目的とした大会を開催する。	12,132	13,971
	② 障害者スポーツ教室の開催 障害のある人の体力増強・交流等、また、障害者スポーツの普及を目的としたスポーツ教室を開催する。	1,431	1,451
	③ 岡山吉備高原車いすふれあいロードレース大会の開催 主催者(組織委員会)の構成員として参画し、大会を開催する。	2,700	2,700
	④ 障害者スポーツ競技研修会の開催 障害の特性に応じたスポーツの指導に必要な知識・技術を有するスポーツ指導者を養成するための研修会を開催する。	449	456

基本施策Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築

(単位:千円)

項 目	内 容	R3(2021) 予算額(案)	R2(2020) 当初予算額
アスリートの 育成・強化	① 優秀選手の育成・強化 ジュニア選手の育成・強化、国体成年選手の強化等を図る。	131,962	131,962
	② 国民体育大会への派遣 第76回大会及び第77回冬季大会に岡山県選手団を派遣する。	90,027	92,304
次世代アス リートの発 掘・育成	① オリンピアン・パラリンピアン育成事業 東京オリンピック・パラリンピックに本県選手を輩出するため、競 技力向上の支援・環境整備等を行う。	9,033	11,578
	② ステップアップ おかやまアスリート事業 将来のトップアスリートとなる選手の育成環境を整備する。	13,039	12,669
	③ つくろう・のばそう! スポーツプロジェクト ジュニア層の競技人口の増加、競技力の向上等を図る。	3,393	3,793
持続可能な 一貫指導・支 援システムの 構築	① 指導体制の確立 トップアスリート派遣、指導者サポート事業等を実施する。	16,253	17,484
	② アスリート就職支援事業 本県に就職を希望するアスリートを支援する。	1,808	2,009
障害者アス リートの育成 等	① 全国障害者スポーツ大会への選手団派遣 三重県で開催される第21回大会へ岡山選手団を派遣する。	25,904	27,154
	② 全国障害者スポーツ大会地区予選会への選手団派遣 中国・四国地区予選会に団体競技の県代表チームを派遣する。	4,299	4,633
	③ 障がい者スポーツ指導員の養成 障がい者スポーツ指導員を他県の講習会等に派遣する。	171	250

基本施策Ⅲ スポーツを通じた活力があり絆の強い地域社会の実現

(単位:千円)

項 目	内 容	R3(2021) 予算額(案)	R2(2020) 当初予算額
おかやまマラソンの開催	おかやまマラソン2021を開催する。(実行委員会への支出)	224,364	189,998
東京オリンピック・パラリンピック関連	① オリンピック・パラリンピック キャンプ誘致推進事業 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、ナショナルチーム等の事前キャンプや地域スポーツコミッションの支援を行う。	25,775	28,775
	② 聖火リレー開催等気運醸成・レガシー創出事業 東京2020オリンピック聖火リレーやパラリンピック聖火フェスティバル等を実施する。	53,372	56,088
	③ 気運醸成イベントの開催 東京2020オリンピック・パラリンピックを盛り上げるための県民参加型イベントを開催する。	1,000	1,000
	④ 【新規】オリンピック・パラリンピック関連新型コロナ対策支援事業 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に際して、県内市町村で行われるホストタウン事業、事前キャンプの実施に当たり必要な新型コロナウイルス感染症対策を行う。	94,395	-
トップクラブチームを核とした地域活性化	トップクラブチームサポーター拡大事業 県内を拠点に活躍するトップクラブチームの試合を活用した応援イベントを実施し、応援気運の醸成等を図る。	4,738	5,265
大規模大会の誘致等	【新規】日本スポーツマスターズ2021岡山大会開催準備事業 競技志向の高いシニア世代を対象としたスポーツの祭典である日本スポーツマスターズ大会の開催に向けて準備を進める。	47,949	5,569

基本施策Ⅳ スポーツ環境の整備

(単位:千円)

項 目	内 容	R3(2021) 予算額(案)	R2(2020) 当初予算額
スポーツ施設の 維持管理	① 指定管理料等(維持管理) ・総合グラウンド、倉敷スポーツ公園、岡山武道館、津山体育館 等	457,538	457,538
	② 大規模改修 ＜R3年度実施＞ ・岡山武道館 主道場改修工事等 349,228 ＜参考 R2年度実施＞ ・総合グラウンド競技場 トラック等改修(日本陸連公認更新) 143,715 ・岡山武道館 練習道場建替等 423,418 ・津山総合体育館 舞台設備等改修の実施設計 3,933 ・津山陸上競技場 メインスタンド防水改修 79,537	349,228	650,603
	③ その他 ・応急修繕、器具購入等	58,990	66,540
表彰制度	岡山県スポーツ特別顕彰、岡山県トップアスリート賞等によって、優秀選手等を顕彰する。	2,106	2,341

教育庁保健体育課の主な事業

子どもたちが生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するため、学校での体育の充実を図り、子どもたちの体力向上への意欲を高めるとともに、一人ひとりの実態に応じた体力づくりに取り組み、子どもたちの体力・運動能力の向上を図ります。

また、新型コロナウイルス感染防止対策に留意しながら、適切な運動部活動が展開されるよう取り組むとともに、スポーツ・武道を通じて、規範意識や豊かなコミュニケーション能力、人間関係を築く力を醸成します。

《学校体育の充実》

(予算額の単位：千円)

R3の取組	校種等	内容	予算要求額
体育授業スペシャルサポーター派遣事業 新規	小	小学校教員が苦手意識を持ちやすい器械運動などの領域の体育授業において、教員とともに指導に入る外部人材を重点的に派遣する。	2,619
体育授業力アップモデル校事業	小	体育の授業力向上に取り組む小学校を体育授業力アップモデル校として指定し、体育主任を中心にカリキュラムマネジメントやアスリート・外部指導者の活用による授業改善等に取り組む。	1,500
体育授業エキスパート派遣事業 (県指導主事の派遣)	小、中	希望する小中学校に県指導主事を派遣し、学校における授業改善をサポートする。	- (運営費で対応)

《体力・運動習慣づくりの推進》

(予算額の単位：千円)

R3の取組	校種等	内容	予算要求額
チャレンジランキング	保、幼 こ 小、中 中等 高、特	クラス等のグループ単位で様々な運動に楽しみながら挑戦し、記録をホームページ上で競うことで、園児・児童生徒の運動の習慣化を図る。	- (運営費で対応)
体力アップ・マイベストチャレンジ! 拡充	小、中 中等、特	新体力テストの8種目の中から、自分が記録を伸ばしたい2種目を選んで自己記録更新を目指すことにより、児童生徒の体力向上への意欲を高め、自己記録更新に向けて一人ひとりが具体的な取組を行うことにより、運動習慣の定着を図る。 【拡充内容】対象校種 中学校、中等教育学校(前期課程) 特別支援学校(中学部)を追加	1,000
いきいき岡山っ子☆運動習慣カード	小	学期毎にビンゴカードの要素を取り入れた「いきいき岡山っ子☆運動習慣カード」を配付し、児童自らが運動や体を動かす遊びの実施状況を把握することで、自発的かつ継続的に運動しようとする意欲を高める。	1,000

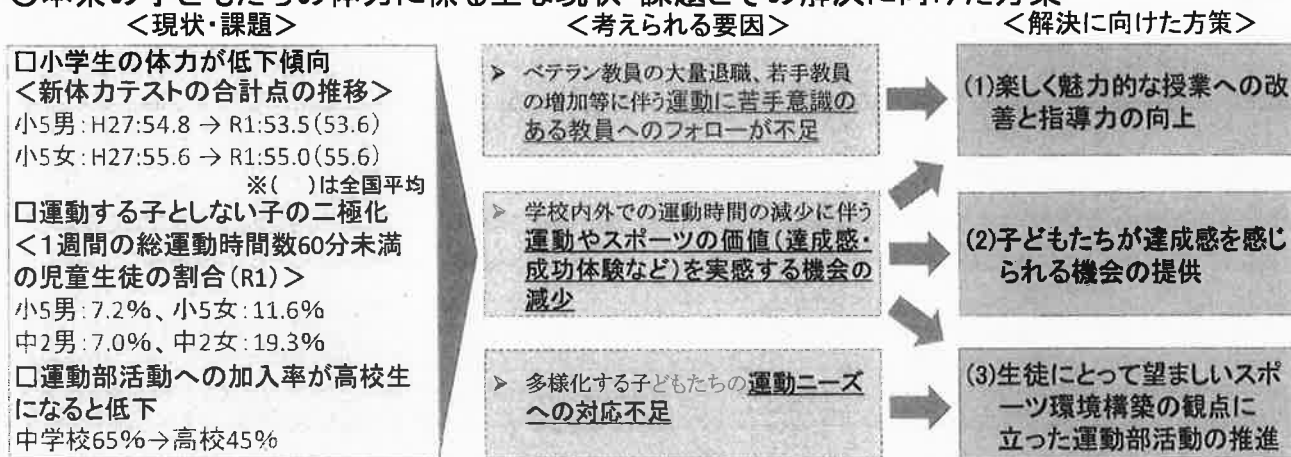
《スポーツを通じた規範意識の向上等》

(予算額の単位：千円)

R3の取組	校種等	内容	予算要求額
中学校運動部活動支援事業	中、中等	選手強化や全国中学校体育大会等派遣費補助など、中学校の運動部活動の支援を行う。	5,975
高等学校運動部活動支援事業 拡充	中等、高	選手強化や全国高等学校総合体育大会等派遣費補助など、高等学校の運動部活動の支援を行う。 【拡充内容】マイナー競技に取り組む県内高等学校の運動部活動のうち特に環境整備面でのサポートを要する学校を支援	13,585
オリンピック・パラリンピック教育推進事業 拡充	小、中 中等 高、特	オリンピック・パラリンピックへの関心を高めるだけでなく、スポーツの価値への理解を深めるとともに、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等を促進する。 【拡充内容】教育推進校 16校→28校	5,499
部活動指導員配置事業 拡充	中、中等 高、特	教員に代わって部活動指導を行う指導員を配置することにより、教員の負担軽減と部活動の充実、活性化を図る。 【拡充内容】県立学校配置数 12→17人	39,983
スポーツ医・科学に基づいた指導等に関する研修会	中、中等 高	「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」に示した適切な休養日及び活動時間の設定とともに、生徒の身体的・精神的状態を見極めた効果的な指導等を徹底するため、研修会を開催する。	341
方針実践モデル校事業 拡充	中、中等 高	「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」に基づいた適切な運動部活動が県内で早期に展開されるよう、モデル校を指定し、実践した成果を普及する。 【拡充内容】実践内容 「ライトスポーツ」を追加	2,800
学校・地域スポーツ環境整備事業	小、中 中等、高	「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」に示した、運動部活動と地域スポーツとの連携・協働を進めるため、岡山県スポーツ協会にコーディネート機能を設け、部活動指導員や体育授業スペシャルサポーターとのマッチングや、モデル校の調整等を行う。	996
優良事例発表会	中、中等 高	「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」に基づいた適切な運動部活動が県内で早期に展開されるよう、方針の実現に向けた実践の成果を普及し、本県運動部活動の改革を加速化させる。	100
教育課程研究指定校事業	高	高等学校における保健体育科の教育課程及び指導方法等について調査研究を行う。	270
地域部活動推進事業 新規	中、中等	令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、地域人材の確保や費用負担の在り方、運営団体の確保などの課題に総合的に取り組むため、拠点校（地域）において実践研究を行い、研究成果を普及する。	5,549

子どもたちの体力向上

○本県の子どもたちの体力に係る主な現状・課題とその解決に向けた方策



(1)楽しく魅力的な授業への改善と指導力の向上

①【新】体育授業スペシャルサポーター派遣事業(R3～)

重点

- 小学校教員が苦手意識を持ちやすい器械運動などの領域の体育授業において、教員とともに指導に入る外部人材(サポーター)を重点的に派遣(小学校30校、1校当たり30時間)
- サポーターによる正しいお手本の提示や的確な技術指導
 《効果》子ども：正しい動きへの理解が進み、運動がうまくなるようになる → 「達成感」「成功体験」を得る
 教員：実技の「コツ」などを習得することにより指導力が向上

②体育授業力アップモデル校事業(R2～)

- 授業力向上や運動の習慣化を図るための体育環境整備に取り組む小学校をモデル校として指定

③体育授業エキスパート派遣事業(R2～)

- 希望する小中学校に指導主事を派遣し、学校における授業改善をサポート

(2)子どもたちが達成感を感じられる機会の提供

④体力アップ・マイベストチャレンジ！(R1～)

- 新体力テスト結果から子ども自らが目標を設定し、次年度の結果向上にチャレンジ
 (上位層だけでなく、個人の伸びを評価)

⑤いきいき岡山っ子☆運動習慣カード(R2～)

- 学期ごとにビンゴの要素を取り入れた運動習慣カードを活用し、子ども自らが運動習慣をチェック

⑥みんなでチャレンジランキング(H18～)

- 様々な運動遊びを行い、インターネット上で記録を入力することで、県内の他の学校と結果を競い合う

(3)生徒にとって望ましいスポーツ環境構築の観点に立った運動部活動の推進

⑦方針実践モデル校事業(R1～)

- 「岡山県運動部活動の在り方に関する方針」(H30.9策定)に基づいた運動部活動が県内で早期に展開されるよう、モデル校を指定し、実践した成果を普及する。
- 内容を生徒自らが主体的に決め、体を動かすこと自体を楽しむ運動部活動「ライトスポーツ」を新たに研究

もっと、
やりたい！

楽しい！



運動やスポーツが好きな子どもたちの増加

体力の向上・心身の健康の保持増進
豊かなスポーツライフの実現



©岡山県「ももっち」

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 概要

部活動の意義と課題

- ✓ 部活動は、教科学習とは異なる集団での活動を通じた**人間形成の機会**や、**多様な生徒が活躍できる場**である。
- ✓ 一方、これまで部活動は**教師による献身的な勤務**の下で成り立ってきたが、休日を含め、**長時間勤務の要因**であることや、**指導経験のない教師にとって多大な負担**であるとともに、**生徒にとっては望ましい指導を受けられない場合**が生じる。
- ✓ 中教審答申や給特法の国会審議において「**部活動を学校単位から地域単位の取組とする**」旨が指摘されている。

持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が必要

改革の方向性

- ◆ **部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務**であることを踏まえ、**部活動改革の第一歩**として、休日に教科指導を行わないことと同様に、**休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境**を構築
- ◆ 部活動の指導を希望する教師は、引き続き**休日に指導を行うことができる仕組み**を構築
- ◆ 生徒の活動機会を確保するため、**休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備**

具体的な方策

I. 休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降、段階的に実施）

- **休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保**
（育成・マッチングまでの民間人材の活用の仕組みの構築、兼職兼業の仕組みの活用）
- **保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援**
- **拠点校（地域）における実践研究の推進とその成果の全国展開**

II. 合理的で効率的な部活動の推進

- 地域の実情を踏まえ、都市・過疎地域における他校との**合同部活動の推進**
- 地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となる**ICT活用の推進**
- 主に**地方大会の在り方の整理**（実態の把握、参加する大会の精選、大会参加資格の弾力化等）

※ 以上の取組は、主として中学校を対象とし、高等学校においても同様の考え方を基に取組を実施。

※ 私立学校は、以上に示した公立学校の取組を参考に、教師の負担軽減を考慮した適切な指導体制の構築に取り組むことが望ましい。

学校の働き方改革を踏まえた部活動改革のスケジュール



	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	2023(R5)	2024(R6)～
国	部活動指導員の配置支援 地域スポーツ・文化環境の整備の推進 教師の兼職兼業に関する整理				部活動改革の全国展開 ● 休日の部活動の段階的な地域移行 （休日の部活動の指導を望まない教師が部活動に従事しない環境の構築）
都道府県・市町村	地域部活動・合同部活動を推進するための実践研究の実施 （保護者の費用負担、自治体の減免措置等、国による支援方策の検討を含む）				
	活動時間の適正化の推進 地域スポーツ・文化環境の整備の推進				
		教師の兼職兼業による地域部活動への参画			
学校体育団体・競技団体・文化芸術団体	地方大会の実態把握	地方大会の在り方の整理		生徒にとって望ましい合理的な地方大会の推進	
学校の働き方改革関連	給特法一部施行	給特法施行	教員勤務実態調査	調査結果を踏まえた給特法改正の検討	
	超勤上限指針の策定・運用				

<本件担当>

- 運動部活動に関すること
- 文化部活動に関すること
- 学校の働き方改革に関すること
- 兼職兼業に関すること

スポーツ庁政策課学校体育室（内3777）
文化庁参事官（芸術文化担当）付学校芸術教育室（内2832）
初等中等教育局財務課（内2346）
初等中等教育局初等中等教育企画課（内2588）

地域部活動推進事業

令和3年度概算要求額：221,097千円（スポーツ庁）
125,677千円（文化庁）



I. 休日の部活動の段階的な地域移行

実施拠点数：114カ所

47都道府県：2カ所（市・町村）20政令市：1カ所

令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、地域人材の確保や費用負担の在り方、運営団体の確保などの課題に総合的に取り組むために、**全国各地の拠点校（地域）において実践研究を実施し**、研究成果を普及することで、休日の地域部活動の全国展開につなげる。

実践研究の実施

<主な実践課題>

- **地域人材を確保・マッチング**する仕組みの構築
- 生徒への適切な指導に必要な**地域人材の研修**の実施
- 平日と休日の**一貫指導のための連携・協力体制**の構築
- **費用負担**の在り方の整理
- 地域部活動の**運営団体の確保** 等

課題の検証
研究成果の発信

休日の地域部活動の
全国展開

II. 合理的で効率的な部活動の推進

- 地域の実情を踏まえ、都市・過疎地域における**合同部活動**や**ICT活用**によるスポーツ・文化活動の機会の充実にに向けた実践研究を実施する。
- 各地域で生徒にとって望ましい大会の推進に向け、**運動部活動の大会に関する調査研究**を実施する。

<合同部活動の例>



<ICT活用の例>



生徒にとって望ましい持続可能な部活動と
学校の働き方改革の両立を実現



(2) 令和3年度スポーツ団体への補助金について

基本施策Ⅰ ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進

1 スポーツ少年団の育成（スポーツ振興課）

(1) スポーツ少年団の育成

指導者・リーダーの養成・資質向上、組織の整備・充実、国際交流事業の充実・活発化等に資する研修会の開催等を支援する。

○補助交付先 (公財) 岡山県スポーツ協会

○予算額(案) 200千円

(2) 岡山県スポーツ少年大会への支援

県内各地のスポーツ少年団員の交流・親睦や資質向上を図るためのスポーツ活動や交歓行事等を支援する。

○補助交付先 (公財) 岡山県スポーツ協会

○予算額(案) 310千円

2 運動部活動の支援（保健体育課）

(1) 中学校運動部活動の支援

中学校運動部活動の発表の場である大会の運営や部活動活性化に繋がる選手強化、保護者の負担軽減を目的とした選手派遣等に要する費用を支援する。

○補助交付先 岡山県中学校体育連盟

○予算額(案) 5,975千円

(2) 高等学校運動部活動の支援

高校運動部活動の発表の場である大会の運営や部活動活性化に繋がる選手強化、保護者の負担軽減を目的とした選手派遣等に要する費用を支援する。また、多様化する生徒の運動・スポーツに関するニーズへ対応するため、環境整備面でのサポートを要する競技を支援する。

○補助交付先 岡山県高等学校体育連盟

○予算額(案) 13,585千円

基本施策Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築

1 優秀選手の育成・強化（スポーツ振興課）

（１）ジュニア選手の育成・強化、国体成年選手の強化

国民体育大会正式競技の選手について、強豪県への遠征費等を支援する。

○補助交付先 （公財）岡山県スポーツ協会等

○予算額（案） 109,334千円

（２）公益財団法人岡山県スポーツ協会の体制整備

本県のスポーツ振興の中核的存在として、県内競技団体等の強化等に関する業務及び玉野スポーツセンターの運営に係る人件費を支援する。

○補助交付先 （公財）岡山県スポーツ協会

○予算額（案） 22,628千円

2 オリンピアン・パラリンピアンの育成（スポーツ振興課、障害福祉課）

（１）トップアスリートのサポート

将来の日本代表が見込まれる選手等を対象に、遠征費、トレーナーの招聘やトレーニング施設の費用等を支援する。

○補助交付先 各競技団体

○予算額（案） 6,600千円

（２）アスリートのステップアップ支援

国体競技でありながら競技人口が少ない競技の普及や育成環境の整備、中央団体との連携強化等、トップアスリートの育成や競技力向上に要する費用を支援する。

○補助交付先 （公財）岡山県スポーツ協会

○予算額（案） 13,039千円

3 指導体制の確立（スポーツ振興課）

（１）スポーツ推進スタッフの配置

美作ラグビー・サッカー場を拠点に、女子サッカーを通じた岡山県の情報発信や交流促進、女子サッカーの普及等に携わるスタッフについて、その人件費を支援する。

○補助交付先 （公財）岡山県スポーツ協会

○予算額（案） 4,050千円

（２）晴れの国トップアスリートの派遣

国内トップリーグで活躍しているチームや国民体育大会で入賞した選手・指導者等を、県内の学校や総合型地域スポーツクラブ等に派遣する経費を支援する。

○補助交付先 （公財）岡山県スポーツ協会

○予算額（案） 10,809千円

基本施策Ⅲ スポーツを通じた活力があり絆の強い地域社会の実現

オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致（スポーツ振興課、障害福祉課）

（１）ナショナルチームキャンプ支援

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の競技種目のナショナルチームまたは代表選手が岡山県内で行うキャンプについて、その交通費・宿泊料等を支援する。

○補助交付先 各競技団体等

○予算額（案） 22,500千円

（２）聖火リレー開催等気運醸成・レガシー創出事業

東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に向け、多くの県民の参加により、岡山の魅力が発信できる聖火リレーを実施する。

○補助交付先 各市町村等

○予算額（案） 30,875千円

（３）オリ・パラ関連新型コロナ対策支援事業

東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催に際して、県内市町村で行われるホストタウン事業、事前キャンプの実施にあたり、新型コロナウイルス対策を支援する。

○補助交付先 各市町村等

○予算額（案） 60,057千円

基本施策Ⅳ スポーツ環境の整備

補助金なし